

動物

の

診察室

から

○ 26 ○

ある日の夜電話があった。生後四カ月のポメラニアンが、飼い主さんの精神安定剤を食べてしまったとのことでした。子犬が飲んでしまうと、具合が悪くなる量です。で、すぐ来てもらい嘔吐させて、事なきを得ました。

最近、ペットロスという言葉を耳にします。ペットロスとは、ペットを



退院するポメラニアンのルーク君

ペットロス

悲しみ引きすぎずならないで

らったが、病院でなくなってしまう。何もしないのも治療なら、私が出たことは間違っていないのでしょうか」との内容でした。

動物が病気で苦しんでいた。ルーク君の事件がきっかけとなりお母さんはペットロスから立ち直りました」と話されています。

動物が病気で苦しんでいる時に、治療をして薬になり、また生活できるようになる可能性があります。治療し

てあげればよいと思います。しかし不幸にして、治療をしても死んでしまうこともあります。人間も動物もみんないつかは死んでしまいます。ご自分が猫ちゃんにしてあげたことを、後悔しないでください。結果として死んでしまったとしても、猫ちゃんは感謝していると思います。

失うことにより、いろいろな精神的な症状が起きることで、ルーク君が飲んでしまったのです。

ルーク君が飲んでしまったのです。ルーク君が退院する時にそのことを聞いて、お母さんに

この子犬の名前はルーク君、とてもかわいい子で、翌日退院の際には、お母さんとお父さんにし

っかりと抱かれて、よかったよかったと頭をなでてもらっていました。

しかし、この飼い主さんは半年前に長年飼っていたポメラニアン「シーサー」の死を経験していたのです。シーサーちゃんは途中事故で前足が不自由になったのですが、お母さんたちにかわいがられて

は、シーサーちゃんは十分にかわいがられていたこと、死んだ原因も寿命で飼い主さんがいつまでも悲しんでいると、シーサーちゃんも天国でつらい思いをしていることなどをお話ししました。

その後予防注射で来られた時、「半年間つらかったですが、もう大丈夫になりました。高年齢の猫の腎臓が悪くなり入院治療をしても